

産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 正常単胎妊娠における分娩時大量出血発症危険因子に関する検討

[研究機関] 北海道大学病院 産科・周産母子センター

[研究責任者] 森川 守 （産科・周産母子センター 助教・外来医長）

[研究の目的] 血液疾患のない正常単胎妊娠妊婦さんにおいて分娩直前の血液検査結果が分娩時大量出血の発症を予知出来るかを明らかにし、今後の周産期医療（産科医療）に役立てるため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 20 年 1 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日の間に北海道大学病院産科・周産母子センターで分娩された日本人の単胎妊娠妊婦さんのうち、分娩直前まで妊娠高血圧症候群を発症せず、陣痛発来または前期破水で入院されて 36 週以降に分娩に至った血液疾患のない妊婦さん。ただし、期間を平成 23 年 12 月 31 日まで延長する可能性があります。

●利用するカルテ情報

分娩時大量出血の有無ならびに重症度（出血量など）、母体年齢、既往分娩の有無、分娩週数、分娩様式（帝王切開術施行の有無）、母体身長、妊娠前母体体重、分娩前母体体重、HELLP 症候群や子癇の発症の有無、妊娠偶発合併症（妊娠糖尿病など）の有無、常位胎盤早期剥離の有無、新生児所見：胎児機能不全の有無、出生児体重、新生児仮死の有無、新生児奇形（染色体異常は除く）、血液学的検査所見、尿検査所見、血圧、分娩時大量出血に対する治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6932(医局)

FAX 011-706-6932